

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|--------------------------|
| ○事業所名 | サポートセンターみらい | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8 1月25日 | 令和 | 令和8年 2月7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 19名 | (回答者数) 18名(1名は1月上旬で退所の為) |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月25日 | ～ | 令和8年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年2月7日 | ～ | 令和8年 2月16日 |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者とは良好関係で、療育相談、家庭での悩み事などの相談は多々ありました。 子ども達が楽しんで活動できる場所を提供していました(虫とり、ミニ農園作り、田んぼや山の散策等) | <ul style="list-style-type: none"> 相談した内容は療育相談として記録していました。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員のスキルアップの為に研修に参加していました。 話しやすい職場作りの為に些細な事でも職員の意見や話を聞いていました。 自然を視覚や肌で感じる様、様々な体験をしていきます。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 職員間は、話しあえる環境で連携が取れていました。 法人の事業所間内で、様々な職種の体験実習ができる事。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝の会やケース会議等で個々の意見が発言できる様に児発管が進行していました。 希望する事業所の体験実習ができる事。 | <ul style="list-style-type: none"> 周知目的の為に職員には、前日の児童の行動について意見交換をしていました。 引き続き取り組んで欲しいです。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の人達も参加型の「みらい祭り」を行っていました。(町の小学生による和太鼓演奏) | <ul style="list-style-type: none"> 町の小学児童が参加し、和太鼓を披露する場として祭りに参加し、障がい者児との交流の場を設けました。 | <ul style="list-style-type: none"> 「みらい祭り」開催時は参加して頂く様声をかけていきます。 また、町立公民館で行われる「ふれあいフェスティバル」(障がい者地域生活推進協議会主催)にも参加できる様声をかけし参加もしていました。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 個室が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 強度高度障がい児が不穏時、又は身体的に休息が必要な児童が安心して休息できる場所が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 休息できる部屋にパーテーションを利用したり、カーテンを利用した環境設定を考えていきます。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |